

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

2024/5/21

りそなホールディングス 市場企画部

担当: 渋谷



(日米 Market View : オルタナティブデータの活用～HRog賃金Now)

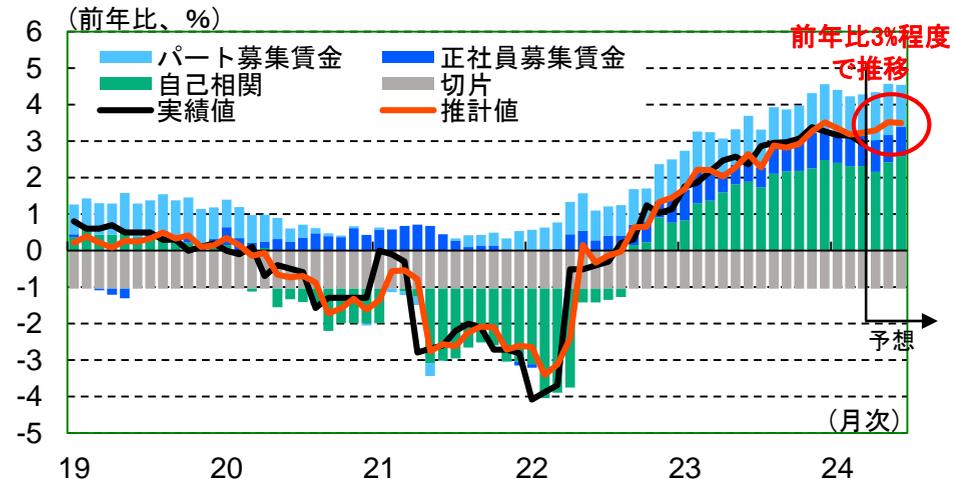
○サービス物価の上昇率は前年比3%程度で推移する見込み

- 物価の安定を目標に掲げる日銀は、こここのところ金融政策の判断にあたって物価と賃金の動向をこれまで以上に注視している。賃金動向を確認する指標としては、毎月勤労統計調査がある。しかし、毎月勤労統計調査は当月分計数が翌々月上旬に速報、下旬に確報として公表されることから、やや速報性に欠けるという欠点がある。
- 速報性を補うような賃金のオルタナティブデータとしてHRog賃金Nowがある。転職サイトに掲載される募集賃金を利用した週次データで、当日分の計数が2週間後に公表されるという速報性に優れるものである。HRog賃金Nowと毎月勤労統計調査を比較すると、コロナ禍後の21年半ば頃から現在に至るまでの期間については比較的相関がみられる(図表1)。
- 賃金の直近の動向に著変がみられないかどうかをオルタナティブデータで確認することができるため、金融政策の修正をより相応しいタイミングで行うことができるようになるのではないかと。例えば、今般の春闘賃上げの効果を確認したい場合、毎月勤労統計調査では少なくとも6月以降に公表されるデータを待たなければならないが、オルタナティブデータでは直近のデータから賃上げの効果が表れてきているかどうかの確認が可能だ。実際、HRog賃金Nowでは3月頃から強いデータが継続しており、賃上げの効果が示唆される。
- 次に、HRog賃金Nowを利用して、賃金が物価に与える影響を検証する。サービス業に分類される職種の、正社員とパートの募集賃金データを使用し、一般的に賃金の影響を受けやすいといわれているサービス物価の変動を説明するモデルを構築した(図表2)。
- 結果からは次の様なことが示唆された。まず、恒常的に物価下押し圧力が存在し、賃金の上昇がなければサービス物価は下落する。また、物価変化のトレンドは簡単には転換しないという特性があり、一度物価が上昇を始めれば上昇トレンドが継続しやすい。
- 今回の分析をもとに足元2～3か月程度のサービス物価の見通しを推計すると、直近のパートの募集賃金がさらに大きく伸びていることも寄与し、サービス物価の上昇率は引き続き前年比3%程度で推移しそうだ。

【図表1: HRog賃金Nowと毎月勤労統計】



【図表2: CPI(持家帰属家賃除くサービス)に賃金が与える影響】



出所：株式会社ナウキャスト『HRog賃金Now』、厚生労働省『毎月勤労統計調査』、総務省『消費者物価指数』、日本銀行『金融政策に関する決定事項等』

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日米 Market View : オルタナティブデータの活用～HRog賃金Now)

2024/5/21

りそなホールディングス 市場企画部
担当: 渋谷

【参考:賃金オルタナティブデータでサービス物価を説明するモデルの分析結果】

	係数	t値	p値
切片	-1.05	-4.20	0.000
$CPI(持家帰属家賃除くサービス)_{t-1}$	0.73	11.73	0.000
サービス業正社員募集賃金 $_{t-6}$	0.34	3.26	0.002
サービス業パート募集賃金 $_{t-2}$	0.33	4.20	0.000
決定係数		0.92	
観測数		62	

注: HRog賃金Nowのうち、「販売/接客/サービス」「教育/語学/スポーツ」「飲食/フード」「ホテル/旅館/ブライダル」の職種における募集賃金データを、各職種がCPIに占めるウェイトで加重平均したものをサービス業募集賃金とした。正社員募集賃金は6期ラグ、パート募集賃金は2期ラグを使用した。これは、募集賃金が上昇してから実際の賃金が増えるまでには時間差があること、パート市場の方が正社員市場よりも流動性が高いであろうことを考慮したものである。

$$\begin{aligned} \text{回帰式: } & (CPI持家帰属家賃除くサービス前年比)_t \\ & = \alpha + \beta_1(CPI持家帰属家賃除くサービス前年比)_{t-1} \\ & \quad + \beta_2(\text{サービス業正社員募集賃金前年比})_{t-6} \\ & \quad + \beta_3(\text{サービス業パート募集賃金前年比})_{t-2} \\ & (\alpha: \text{定数}, \beta_n: \text{係数}, t: \text{時間}) \end{aligned}$$

■バックナンバー

No	発行日	テーマ	タイトル
1	2024/4/2	米国経済, 米国株	日米 Market View : 3月ISM製造業景況感指数
2	2024/4/5	日本株	日米Market View : 日本株需給
3	2024/4/12	日本株	日米Market View : 日本株需給
4	2024/4/19	日本株	日米Market View : 日本株需給
5	2024/4/22	米国株	日米Market View : シリコンサイクルから見る米ハイテク株の展望
6	2024/4/23	日本株	日米Market View : 日本株バリュエーション
7	2024/4/26	日本株	日米Market View : 日本株需給
8	2024/5/2	米経済	日米Market View : 5月FOMC
9	2024/5/7	米国経済, 米国株	日米Market View : 米国のAIブームはITバブルと同じ末路を辿るのか?
10	2024/5/13	日本株	日米Market View : 日本株需給
11	2024/5/13	日本経済	日米 Market View : オルタナティブデータの活用～日経CPINow
12	2024/5/16	日本株	日米Market View : 3月決算企業の本決算と日本株への影響
13	2024/5/17	日本株	日米Market View : 日本株需給
14	2024/5/20	日本株	日米Market View : TOPIX採用企業の株主還元

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。